



相撲部

体の大きさではなく、すべては「心」 先輩と同じ相撲道場で練習に汗

相撲の魅力とはなんのでしょうか?大きな体で相手を圧倒して勝つことでしょうか?小さな体で大きな相手を投げ飛ばすことでしょうか?どちらも相撲の魅力ですが、一番はどんな相手にも「心」を燃やし立ち向かうことこそ相撲の魅力です。

本校相撲部は石川県内の学校相撲部として唯一の中高一貫体制を築きます。大学生や高校生と合同で練習を行うことで、先輩の経験や心構え、どんな相手にも立ち向かう「強い心」、礼儀や感謝、相手を思いやる



高校、大学生部員に交じって地元中学生も練習に参加している=金沢学院相撲道場

「優しい心」を学びます。こうして大舞台でも臆することなく、実力を発揮できる「心」を育んでいきます。

心身ともに一人の人間としての成長を目指し、社会に貢献できる人材となることを目標に掲げます。そのためには「強い心」と「優しい心」が不可欠です。相撲を通じて、日本一を目指しながらも勝つことだけを求めるのではなく、強い精神をつくり、仲間と競い助け合いながら体を鍛えて、社会性を高める部活動を進めていきます。

チームポリシー *policy*

- 1.常にスポーツマンとしての自覚と誇りを持ち健康に努め誠実で明るく生活する
- 2.勝負にこだわることなく全力を尽くし相手の健闘をたたえ礼儀正しく行動する
- 3.他者への思いやりや周囲への気配り等、豊かな心を育むよう努める

NEWS

大相撲・炎鵬関に道場で 胸を借りてけいこも

練習場所の金沢学院相撲道場には、金沢学院東高校(現・金沢学院大学附属高校)、金沢学院大学の卒業生である大相撲の炎鵬関=宮城野部屋=が金沢に帰省した際に度々訪れています。調整を兼ねて土俵に上がり、練習に汗を流すこともあり、中学生部員も胸を借りる場面があるかもしれません。

指導者の胸の内

心・技・体 相撲を通して、 将来社会の役に立つ立派な人を目指す



相撲は日本を代表する武道であり、心技体のバランスがとても重要な競技です。心技体3つのバランスが整っているときには、自分の望む成果が出やすく、3つのバランスが崩れると期待する結果が出ません。これはスポーツだけではなく私生活でも同様です。「心」「技」「体」は次の3つがポイントだと考えます。

心 くじけない強い心
技 大きな相手にも負けない技
体 たくましく強い体

この3つを伸ばすことを常に心掛けて指導に当たります。

梶 光太 監督

金沢学院東高校(現・金沢学院大学附属高校)、金沢学院大学卒業。高校相撲金沢大会団体3位、西日本学生相撲選手権大会団体優勝、全日本大学選抜相撲金沢大会団体3位などの成績を収め、2019年から金沢学院大学職員。

一番の 思い出

高校3年の高校相撲金沢大会、迎えた団体準々決勝で1対1の大将戦に挑みました。緊張で手足は震え、頭が真っ白の状態です。土俵に立っていました。その時、背中から、力強い全校生徒の応援が耳に届き、たちまち勇気が湧いてきました。自分でも驚くほどの力が発揮でき、団体3位という忘れられない思い出を残すことができました。今度は私が応援する立場となり、その経験を生徒にも体験してもらえよう指導していきます。

練習場所

金沢学院相撲道場

活動予定

週6日、1日2〜3日時間程度。
週1回休養日を設けます。